

年忌法要

法要の名称	時期	法要の内容	案内状
一周忌 (いっしゅうき)	満 1 年目	遺族、親族、友人、知人などが参列。 僧侶による読経のあと、一同で焼香・ 会食（お斎）をします。	○
三回忌 (さんかいき)	満 2 年目	遺族、親族、友人、知人などが参列。 僧侶による読経のあと、一同で焼香・ 会食（お斎）をします。	○
七回忌 (ななかいき)	満 6 年目	遺族、親族で供養するのが一般的です。 一般的に、七回忌の頃から、法要の規模を 縮小していきます。	
十三回忌 (じゅうさんかいき)	満 12 年目	遺族だけで供養するのが一般的です。	
十七回忌 (じゅうななかいき)	満 16 年目	遺族だけで供養するのが一般的です。 省略する場合があります。	
二十三回忌 (にじゅうさんかいき)	満 22 年目	遺族だけで供養するのが一般的です。 省略する場合があります。	
二十七回忌 (にじゅうななかいき)	満 26 年目	遺族だけで供養するのが一般的です。 省略する場合があります。	
三十三回忌 (さんじゅうさんかいき)	満 32 年目	遺族だけで供養するのが一般的です。 ※三十三回忌は弔い上げ（とむらいあげ） とも言われます。仏教では死者は 33 年 目にはどんな人でも無罪になって極楽浄 土に行くと言われていています。 仏壇から戒名を記した位牌を片付け、こ れ以降は「□□家先祖の霊」の位牌を祀 ります。 ※地方によっては、五十回忌をもって弔い 上げとする地方もあります。	
三十七回忌 (さんじゅうななかいき)	満 36 年目		
四十三回忌 (よんじゅうさんかいき)	満 42 年目		
四十七回忌 (よんじゅうななかいき)	満 46 年目		
五十回忌 (ごじゅうかいき)	満 49 年目		